

| | | | |
|-------|------------|------|-----------|
| 事務事業名 | ホームページ運営事業 | 整理番号 | 51201-000 |
| 所管 | 企画課 広報スタッフ | | |

事務事業の位置付け

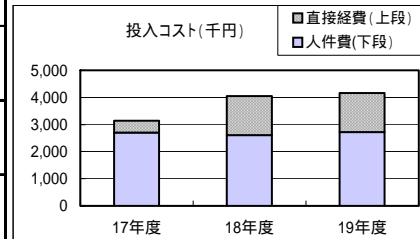
| | | | |
|--------------|--|----------|--|
| 期間 | 平成9年度 ~ 平成年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置付け | 基本政策 5-1 市民主体の行政運営 政策 5-1-2 開かれた行政の推進 | 関連政策 | |

事務事業の内容

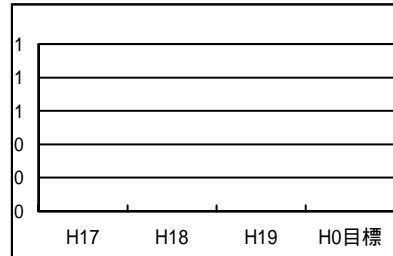
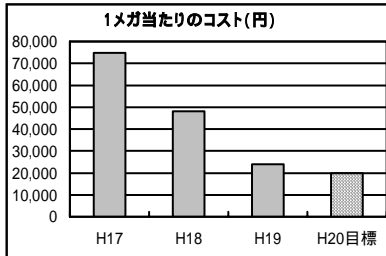
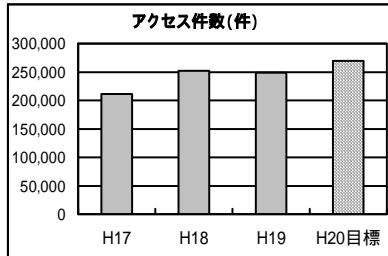
| | |
|----------------------|---|
| 目的 (何のために) | 御殿場の情報を国内に限らず全世界に向けて広報するとともに、市民の生活に必要なと思われる行政情報などを公開する。 |
| 対象 (誰・何を) | 市民には生活に関する情報を提供し、市民以外には主に御殿場の観光紹介の情報を提供 |
| 手段 (どのようなやり方で) | web上に御殿場市のホームページを開設し、様々な情報を提供している。内容としては市民の生活に直結した話題から対外的な観光のページ、英語版ホームページ(簡易版)を設けている。 |
| 成果 (どのような状態にしたいか) | ・市民が市役所に足を運んだり、尋ねたりすることなくホームページを見るだけで様々な制度やサービスなどを 知ることができるようにしたい。 ・市外の人々が、御殿場に興味・関心を持ち、御殿場に訪れたいような内容にしたい。 ・ユニバーサルデザインに対応し、すべての人が快適に利用できるようにしたい。 |
| 事務事業の背景・住民の意向 | パソコンの普及拡大に伴い、インターネット利用者も大幅に増加している。利用者はパソコン上で必要な情報を求めているため、そのニーズに応えるためにも更に多くの情報を掲載する必要がある。 |
| 見直し改善の経過 | 平成13年度にホームページ全体の見直し・携帯用サイトの設置、平成14年度には英語版ホームページの設置、平成17年度にはトップページのリニューアル、平成18年度には各課で入力できるお知らせシステムの導入、平成19年度は、携帯サイトのお知らせ版を作成した。 |

事務事業の実績・投入コスト

| 年度 | 事務事業実績 |
|--------|---|
| 平成17年度 | ・トップアクセス総数 211,132件 ・ホームページ研修 年24回 ・内容量 300メガバイト |
| 平成18年度 | ・トップアクセス総数 252,147件 ・ホームページ研修 年24回 ・内容量 739メガバイト |
| 平成19年度 | ・トップアクセス総数 248,939件 ・ホームページ研修 年24回 ・内容量 1741メガバイト |



評価指標



事務事業の評価

| 観点別・一次評価(担当部署の評価) | コメント | | 今後の方向性 |
|-------------------|------|---|--------|
| 観点別評価 | 必要性 | 今後も引き続き、内容の充実やユニバーサルデザイン、セキュリティの問題(ホームページの改ざん)、動画配信などの対応も進めていく必要がある。(セキュリティやユニバーサルデザインなどはかなり高い技術が要求される) | 今後の方向性 |
| | 有効性 | | |
| | 効率性 | | |
| 一次評価 | B | | 拡大 |
| 二次評価(行政評価委員会の評価) | コメント | | 今後の方向性 |
| 二次評価 | B | ホームページや携帯サイトが整備されたことは認められるが、コンテンツ・マネジメント・システムの導入や、部分委託だけでなく全面委託も考える必要がある。 | 手段改善 |

改革プラン

| | | |
|--------------|---|------------------|
| 平成20年度からの対応 | ・庁内の代表者で構成されたホームページ検討委員会(案)の立ち上げ ・携帯電話サイトの充実 ・パナー広告の導入 ・ホームページ入力 ・運用規定の作成 | ・トップページ(お知らせ)の充実 |
| 平成21年度以降の対応 | ・ユニバーサルデザインへの対応 ・セキュリティの向上 ・CMS(コンテンツマネジメントシステム)の導入 | |
| 改革により予想される成果 | ・御殿場市の情報を全世界に更に発信することができる。 ・市民サービスの向上 ・定期的な収入の確保 | |